



～あなたの暮らしを豊かに、人々の健康的な暮らしを守る、それがアイエムの願いです～

2017 July No.161

アイエム NEWS

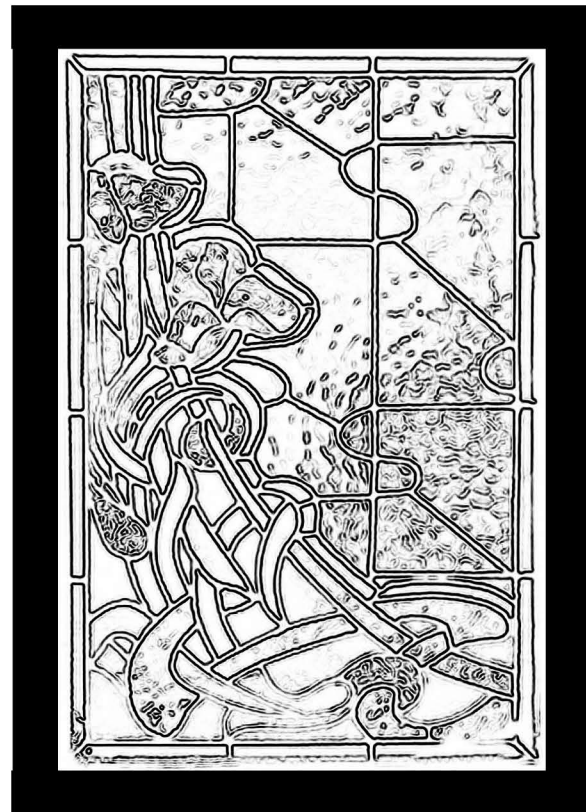
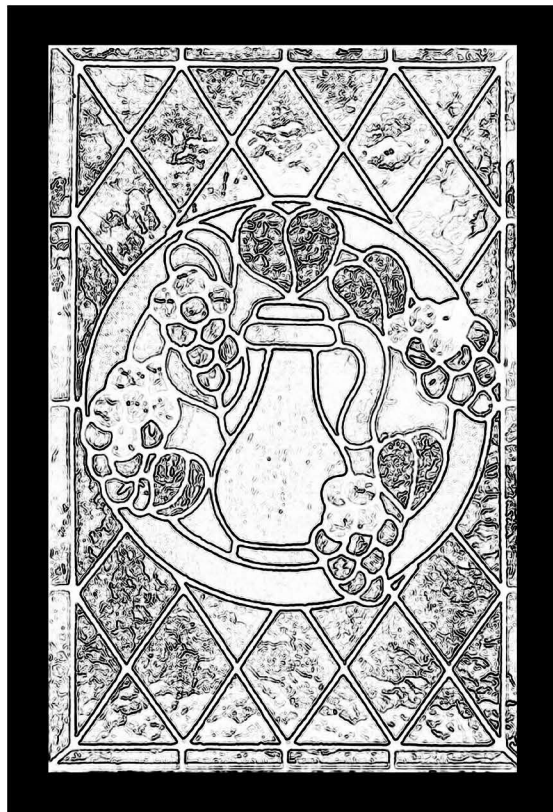
・アイエム換気口 <http://www.imcompany.com>
 ・アイエムドア <http://www.imdoor.com>
 ・アイエムリビング <http://www.imliving.com>

アイエム =NEW= ステンドグラス

日差しに「感性」を与える、洗練されたステンドグラスの登場です。
 昨日まで殺風景だった場所が
 アート空間に早変わり。
 ご自宅はもちろん、レストランや
 オフィスの受付などにおすすめです。

アイエム ステンドグラス 🔍

www.imdoor.com/antique_stendglass/



IM Column!

「織田信長のシェフ」が語った長寿の秘訣とは？

織田信長が尾張から決起して天下を取り、京都へ乗り込んで羽振りをきかしていた頃のこと。厨房役を引き受けていた料理人は86歳という高齢だったそうです。ある日、信長がこの老料理人を呼んで尋ねました。

「そちは86歳というのにすこぶる達者だが、何か健康法でもあるのか」

「畏れ入ります。私はただ、料理人なるがゆえに達者でございます」

「それはまたどういうことか？世間でよく料理人は先にいろんな美味しいものを食すので余計に短命だ、と聞くが」

「私は長い間料理一筋務めまして、儀式などによく鶴を使います。他の鳥は、胃がはち切れるほどに食っておりますが、鶴はいつ料理をいたしましても胃袋には七分しか食べ物が入っておりません。鶴の長命はこれに限る。

人間も食べ過ぎてはいかぬ、と知らされ、私は常に七、八分より食べないことにしております。これは始終手にかけた鶴に教えられたことで、おかげで長命を保っております」と答えたといいます。

この考えは、オランダの名医ブールハーフェの遺言集にも通ずるところがあります。「頭寒足熱。腹八分」と記されたその言葉からは、食べ物ばかりではない。人生にいたっても

「過ぎたるはなお及ばざるの如し」であると感じさせます。

アイエム コラム

検索 🔍

「歴史上の偉人のお話」より

カタログ請求 | お問い合わせ

御社の貴重な回線を使用させていただき、誠に申し訳ございません。今後、本FAXがご不要な場合は、お手数ですがその旨とお名前、FAX番号を明記してご返送ください。今後共ご高覧の程、宜しく願い申し上げます。

※該当する箇所チェックを入れて下さい【アイエム株式会社行：東京FAX03-5325-6505、大阪FAX06-6567-2414

カタログ請求（☐ アイエム換気口 ☐ アイエムドアコレクション） ☐ 見積依頼 ☐ アイエムニュースは不要です。 ☐ その他

貴社名

電話番号

ご住所 〒

FAX番号

大阪 〒556-0024大阪市浪速区塩草3-9-4 TEL:06-6561-3901 FAX:06-6567-2414

アイエム株式会社 東京 〒160-0023東京都新宿区西新宿6-12-1パークウエストビル5F TEL:03-5325-6503 FAX:03-5325-6505

